

愛川町消防団第二分団 人情火消し

2005年 夏号

発行 愛川町消防団第二分団

編集 人情火消し編集委員会



分団長あいさつ

高峰地区の住民の皆様には、日頃より消防団活動に對しまして、ご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。でございます。

私たちが愛川町消防団第二分団は「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神に基づき、高峰地区住民の生命・財産を守るため組織されたボランティア団体です。日常仕事をもちながら、有事の際に對応すべく、日々、防災活動・訓練を行っております。

しかしながら、近年、消防団が抱えている大きな問題が人員の確保であります。現在、留任や欠員といった深刻な状況にあります。

この度「人情火消し」を発行し、消防団の役割や楽しさを広めることで、より多くの方に消防団活動を理解していただき、安全・安心な町づくりを目指したいと考えておりますので、今後ともよろしく願いたします。

愛川町消防団第二分団

分団長 沼田 豊
副分団長 平本 康

第二分団第一部（三増区）



私たちが、第二分団第一部が管轄する三増区は、650世帯を擁し、緑に溶け込んでいるハイテク団地が立地するなど、自然と調和がとれたまちなみを形成しています。

現在は、25～38歳までの15名の団員から構成し、年齢層が幅広く、多様な人材が集まっているので、各自の役割に応じた、バランスの取れた運営をしています。

主な活動ですが、地域防災の担い手として区民皆様の付託を受け、日頃から訓練に励んでおります。そして前回の町消防操法大会では準優勝を獲得し、確実に実績を重ねているところです。

また、地域活動の一環として、ゴミゼロクリーンキャンペーンをはじめとした地元行事への積極的な参加を心がけていると同時に、地域の伝統行事の維持、継承にも努めて行きたいと考えています。

特に、三栗山の牛松は、東の天狗松、西の信玄旗立松と並んで三増の三松として古くより親しまれていますが、我が部は、この牛松に古くから伝わる「山遊び」を起源とした「八十八夜祭」を三増青年団から受け継いでおり、特に今年が百周年の記念式典を開催しました。

今後とも地域に溶け込む「三増消防団」として努力して参りますので区民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



団員構成（定員16名）

副部長	小島 義幸（新宿）
班長	小川 浩幸（上宿）
班長	佐々木 秀幸（下宿）
班長	宮田 秀朗（上三増）
班長	小野澤 忍（新宿）
班長	原 誠一（下宿）
班長	松本 敏信（中央養鶏）
班長	池田 温（新宿）
班長	飯田 裕二（下宿）
班長	岡本 大輔（新宿）
班長	古郡 英隆（下宿）
班長	小林 正弥（上三増）
班長	小林 慶成（上三増）
班長	小川 篤志（新宿）
班長	中里 敬亮（下宿）

第二分団第二部（小沢区）

皆さんこんにちは！

私たちをより多くの人たちに知ってもらうため、第二分団第二部を紹介したいと思います。

私たちは高峰地区のうち小沢区約500世帯を管轄として活動しています。また相模原市や津久井郡にも隣接しているため、災害の時は水郷田名地区や葉山島地区に出動することもあります。

総勢13名の有志で構成し、仕事をもちかたわら、団員みんなで協力し合いメリハリのある消防団活動をしています。

第二分団第二部として

私たちの使命はみなさんの生命と身体財産を守ることです。有事の際に備えるため、みんなが3つの方針を決め活動していきます。

- ・教育訓練・講習会への全員参加
- ・月1回の各種火災を想定した訓練の実施
- ・常に同じ使命感を共有出来る環境を作る

また相模原納涼花火大会の警戒や小沢区防災訓練への参加、愛川町一周駅伝大会の応援など、地域の活動にも部一丸となつて一つひとつ実行していきます。



団員構成（定員14名）

部長	八木 敬徳（小沢）
副部長	中溝 修次（小沢）
班長	熊沢 智嘉（小沢）
班長	小島 稔（梅沢）
班長	近藤 大輔（小沢）
班長	傍示 康紀（小沢）
班長	熊沢 政勝（小沢）
班長	熊沢 正登（小沢）
班長	熊沢 一友（小沢）
班長	熊沢 賢一（上小沢）
班長	熊沢 和俊（小沢）
班長	熊沢 喜平（上小沢）
班長	榎本 雅（小沢）

私たちがからのメッセージ

私たちが仕事などの都合で活動に参加するのが難しいこともあります。その中でも活動への参加率が高いのは、団員みんなの熱意はもちろんです。小沢区みなさんの支援と、家族の理解があるからだと確信しております。

地域のみなさんにその姿をお見せすることが少ないのが残念ですが、これからも私たちが第二分団第二部をよろしく願っています。



第二分団第三部（箕輪区）

私たち第二分団第三部は原箕輪、睦台、下箕輪、幣山地区で構成されています。

町役場がある、いわば愛川町の中心地域を担当しており、隣接地域の関係で消火活動に出ることが比較的多い地区でもあります。

また消火活動だけでなく、地域行事の警戒、防犯、防災推進等、14名の団員で地域に密着した活動をしています。

団員構成は25〜38歳で「楽しく厳しく」の考えのもと、防犯・防災活動は規律厳正な行動を各自がとり、それ以外では皆が楽しく活動できるサークル的な環境を目指しています。

私たちは前回行われた愛川町消防操法大会で最優秀賞をとることができました。

この結果は団員の結束、団結力、そして各自の『郷土愛護』の精神なくしては得ることができないものであり、また防災活動においては大変重要な要素でもあります。

私たちは地域全体で防災意識を高めるにあたり、少しでもお手伝いできるよう、これからも日々努力をしていきます。

消防団活動はまったく負担がないというものではありませんが、それ以上に地域住民の方との繋がり、組織活動の手法など消防団というボランティア活動を通して得ることが出来る財産が多くあります。そして、少しでも多くの人に参加活動をしていただくことで、有事の際、各自が自発的に行動でき被害を低減できるものと確信いたします。

これからも消防団活動に対しまして引き続き皆様のご理解・ご協力をいただきたくお願い申し上げます。



団員構成

(定員14名)

部長	草刈 敏之	(原箕輪)
副部長	諏訪部 克明	(原箕輪)
班長	馬場 昭二	(幣山)
班長	諏訪部 知保	(原箕輪)
班長	馬場 康之	(睦台)
班長	関根 宏昭	(原箕輪)
班長	関根 和浩	(原箕輪)
班長	関根 康生	(原箕輪)
班長	有賀 純一朗	(下箕輪)
班長	馬場 貴文	(幣山)
班長	竹松 圭二	(下箕輪)
班長	小関 佑	(睦台)
班長	馬場 晃	(幣山)
班長	山瀬 豊	(睦台)

第二分団第四部（角田区）

こんにちは。角田区を管轄する、第二分団第四部です。

「隣の家が火事です」「大雨で地元で洪水が起こっています」そんな時、皆さんはどういう気持ちになりますか？ 誰もが「火を消さない」と「土のうを造ろつ」と思いますよね。そんな強い気持ちや姿勢が大切なことで、そうゆう気持ちの積み重ねで、「地域防災」って成立するんですよ。

私たち第二分団第四部は、団員自らがこの気持ちを持つことは当然として、地域の皆さんに、少しでもこの気持ちをもってもらいたいと考えながら、地域と一体となって活動をしています。

★ぜひ私たちにご協力ください！

現在団員は12名で活動をしています。もちろん、私たちが先頭に立って地域防災に当たらなければならぬのですが、私たちだけの力では、まだまだ不十分です。活動にご理解をいただき、ぜひご協力をお願いいたします。

★ホームページを立ち上げています。

私たちの普段の活動はホームページで紹介しています。ぜひ一度ご覧ください。この紙面だけでは語れない、私たちの姿がご覧になれると思います。
http://www.geocities.jp/aikawaz2_4/



団員構成

(定員14名)

部長	高橋 篤史	(中の平)
副部長	馬場 貴宏	(下之街道)
班長	高橋 誠	(中の平)
班長	成井 健浩	(下之街道)
班長	小曾根 清之	(峰)
班長	小川 邦彦	(中の平)
班長	成井 宏幸	(海底)
班長	谷本 雄市郎	(峰)
班長	小曾根 英樹	(峰)
班長	小川 直	(中の平)
班長	小川 寿吉	(中の平)
班長	井上 真宏	(下之街道)

愛川町消防団第二分団 (高峰地区) 器具舎所在図



消防団の主な年間行事

- 四月 辞令交付式
ポンプ性能検査
- 五月 二分団合同訓練
- 六月 水防訓練 (隔年)
操法大会 (隔年)
- 七月 防災訓練
- 九月 家族慰安会 (隔年)
- 十一月 秋の火災予防運動
二分団合同訓練
- 十二月 歳末火災特別警戒
消防出初式
- 三月 春の火災予防運動

この他、各部において消防器具、消火栓の定期的な点検活動や、県外視察研修を実施しています。
また自治会の要請により、各種イベントでの警戒活動等も行っています。

新入団員募集中!

安全・安心な高峰地区を目指して!

二分団では現在、一緒に活動してくれる団員を募集しています。
「自分たちの地域は自分たちで守る」という趣旨に賛同いただける方、消防団活動やボランティア活動に少しでも興味のある方は、自薦他薦を問いませんのでお気軽に各部団員、もしくは町消防本部(0855-331-1)までお問い合わせください。



2分団合同訓練 (ハイテク団地)

